

事業実施報告書

平成28年5月31日

四国の川を考える会
会長 鈴木 幸一 様

高知県立高知青少年の家
所長 徳永 靖彦



「親子ガサガサ体験教室」概要報告

平成28年5月21日（土）、28日（土）の2日間、親子で仁淀川に棲む生き物を見つけ、見つけた生き物から分かることを話し合うことによって、日本一の水質を誇る仁淀川の環境や水質を学び、環境の保全意識を高めるとともに、川遊びの楽しさを体験する目的で実施しました。21日は、いの町波川緑地公園に36名の小学生と保護者が晴天の下集合、仁淀川保全推進協議会の井上先生のご指導を受け、川底に棲む生き物をアミや手でガサガサし、きれいな水にしか棲まない川虫（カゲロウの幼虫やトビケラなど）を多く採ることができました。その後の座学では、川虫ビンゴで楽しみ、先生からは仁淀川の歴史にもふれ最近では、徐々に仁淀川も環境が悪くなっている、一人ひとりがゴミなど捨てない、川をきれいにしようという意識を持たなければいけないとお話があり、親子は環境保全の大切さを感じ取っていました。

28日には、仁淀川河口大橋付近の干潟でカニの観察を行いました。曇天の中34名の小学生と親子が集まり、高知大学伊谷准教授と研究生4名のご指導を受け、1時間のカニ取りを楽しく体験しました。あちらこちらで「カニが捕れたで、大きい！」などと歓声が上がりなかには、子どもそっちのけで親が一生懸命になる姿も見られほほえましく思いました。

その後テント内で、捕獲したカニ（アリアケモドキやクロベンケイなど）を水槽に入れ、カニについての勉強会をしました。子どもたちからは、カニの名前など先生に質問するなど河口付近に生きるカニについて知識を深めました。また、特に河口付近はゴミなどが集まりやすくなることも知り、カニさんに長生きをしてもらうためにもきれいにしなくてはいけないという気持ちを養いました。

この事業の開催に当たっては、地元いの町、土佐市のみなさんはじめ多くのボランティアの方々の協力を得て実施することができました。感謝申し上げます。また「四国の川を考える会」より助成金をいただき、少なからず「豊かで潤いのある河川環境の保全と創造」のため役立てたことをご報告申し上げます。

親子ガサガサ体験教室 写真

5月21日(土) 川虫観察



5月28日(土) カニ観察

